（様式）

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報

|  |  |
| --- | --- |
| 議題 | 新公会計制度アドバイザリー会議 |
| 日時 | 平成２７年８月２４日(月)　１４時５５分～１６時３８分 |
| 場所 | 府庁本館６階　会計検査室 |
| 出席者 | (特別顧問・特別参与)：小幡特別参与　武田特別参与会計指導課 会計管理者、課長、課長補佐１名、主査３名、主事１名　　　 財産活用課 課長補佐１名、主査１名、副主査１名 |
| 論点 | ・平成２６年度財務諸表について・その他 |
| 主な意見 | 資料１について・純資産変動分析表の主な増減要因欄の「収支により」という表現を貸借対照表どおりに「歳計現金等の減」に改めてはどうか。資料２について・行政コスト計算書の説明に、今回変動の大きかった税連動費用に係る記載をしてはどうか。・行政活動キャッシュ・フロー収支差額の説明を、行政サービス活動収支差額と投資活動収支差額に分けてはどうか。資料３について・７ページ Ｖ．財務状況 １．主な財務分析（財務諸表に表れた数値を用いて各種の比率を算出）へ、算定数値（金額）を記載してはどうか |
| 結論 | 資料１について・純資産変動分析表の主要な増減要因欄の「収支により」という表現を「歳計現金等の減」に改める。資料２について・行政コスト計算書の説明に、税連動費用に係る事項を記載する。・行政活動キャッシュ・フロー収支差額の説明を、行政サービス活動収支差額と投資活動収支差額に分けて記載する。資料３について・７ページ Ｖ．財務状況 １．主な財務分析（財務諸表に表れた数値を用いて各種の比率を算出）へ算定数値（金額）を記載することとする。 |
| 説明等資料 | ・議事次第・【資料１】平成２６年度財務諸表（各会計合算）・【資料２】平成２６年度大阪府新公会計制度財務諸表の概要・【資料３】平成２６年度大阪府新公会計制度財務諸表について・【資料４－１】第３７回アドバイザリー会議資料の訂正について・【資料４－２】【第３７回会議資料１－２】減損の状況（訂正版）なお、これらの資料については、平成2７年８月２４日現在であり、会議でのご指摘等による修正があります。最終の財務諸表等については、下記の資料を確認ください。※最終の財務諸表についてはこちら（リンク）<http://www.pref.osaka.lg.jp/kaikei/newzaimusyohyou/index.html> |
| 関係部局（室課） | 財産活用課 |